

挿管困難に対する新しい道具
 —マッコイ喉頭鏡—
 J R 東京総合病院麻酔科 西山 友貴

気管内挿管を毎日行なっているわれわれ麻酔科医は、挿管困難症例にまれならず遭遇する。

通常の喉頭展開で挿管困難な症例では、まず枕を高くしたり、介助者に喉頭部を押さえてもらったりして挿管を試み、それでもだめなら、盲目的挿管を試みる。さらに気管支ファイバースコープを用いたり、通常用いているマッキントッシュ型喉頭鏡から、ブラードの喉頭鏡（気管内チューブガイド式ファイバースコープ）、ベルスコープ喉頭鏡（プリズム付きアングルドストレートブレード）などに変更して再度挿管を試みる(1)。

しかし、ファイバースコープはやや機械が大がかりとなるため準備に若干の時間を要し、また適格な視野を得るのに苦労することも多い。ブラード、ベルスコープ喉頭鏡は手軽ではあるが、形も視野の得方も通常用いているマッキントッシュ型とはかなり異なり、熟練しなければ使いこなすのは難しい。

これに対して、今回発売されたマッコイ喉頭鏡は、形はマッキントッシュ型で、喉頭展開は普通のマッキントッシュ型喉頭鏡と全く同様に行える。通常どおりに喉頭蓋にブレードをかけ、緩徐にレバーをひいてブレードの先端を挙上すると、喉頭蓋が持ち上がる。レバーを約20°動かすだけで、ブレードの先端は70°挙上する。通常の喉頭展開では喉頭蓋の先端しか見えなかった症例でも、ブレード先端を挙上することにより、喉頭後壁あるいは声門まで見えるようになる。通常、挿管困難症例では、喉頭蓋挙上のために喉頭鏡操作に力が加わりがちであるが、本喉頭鏡では、少しのレバー操作のみでよいから、余分な力が加わらない。喉頭鏡を持ち直したり、両手を使うことなく、ハンドルを持つ手のみで操作できる（通常は母指を用いる）ので非常に便利である。

欠点としては、まず、先端に屈曲機能を付けたため、ブレード、特にそのハンドルとの接続部位がやや厚くなっていることと、附属部位（レ

バー）が付いていることがあげられる。初めて本喉頭鏡を見た時には、この2点により挿入が難しくなったり、視野が妨げられることが危惧されたが、実際使用してみると、通常のマッキントッシュ型喉頭鏡とほとんど変わらない挿入のしやすさ、視野であった。またブレード自体に附属機能が付いたため170gと従来のブレード（約100g）より重くなっている。しかし、電池を装着したハンドルと接続して実際に使用する状態にした場合、その差は気にならない程微々たるものとなる。

使用上の注意点は、ブレード先端を急激に挙上すると組織を傷つけるため、レバー操作を緩徐に行なうこと、必ずブレード先端を元に戻してから喉頭鏡を引き抜くようにすることである。

本喉頭鏡を研修医（麻酔経験3～6ヶ月）に使用させてみたところ、挿管失敗例が減少し、上顎の歯にブレードがあたらず、さらに喉頭鏡を握る手に余分な力が入らなくなった。

マッコイ喉頭鏡は、ブレード挙上機能を有し、挿管困難に対する強力な武器となるのみならず、ブレード先端を挙上しなければ通常の喉頭鏡としても使用でき、全身麻酔時はもちろんのこと、救急、集中治療領域においても非常に有用な道具となるであろう。

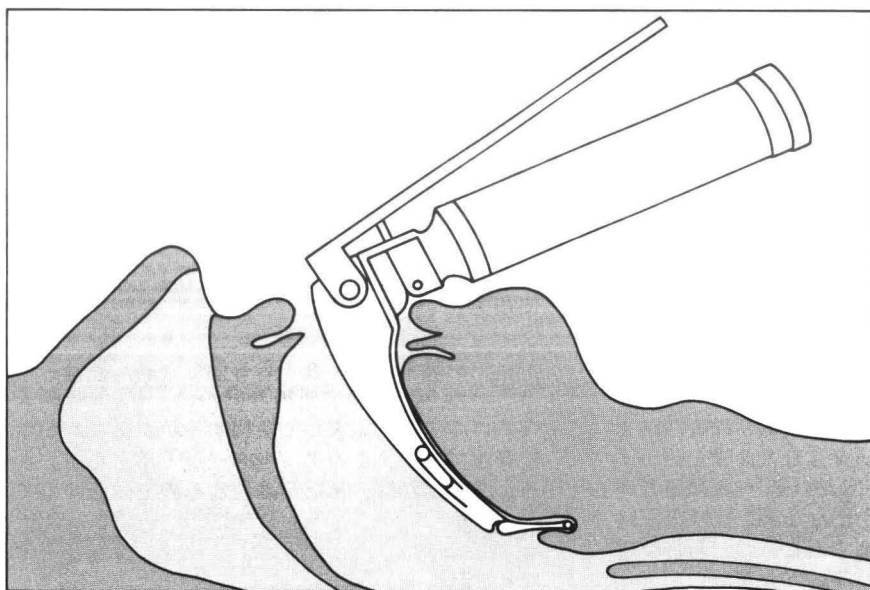
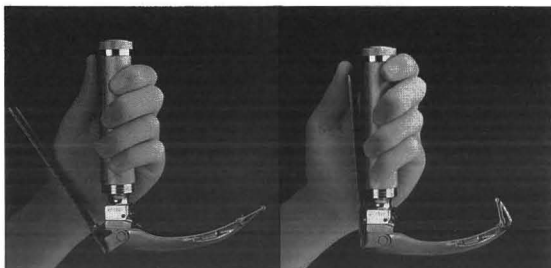
(1) BELLHOUSE CP. An angulated laryngoscope for routine and difficult tracheal intubation. *Anesthesiology* 1988;69: 126-129.

マッコイ喉頭鏡

通常の挿管から挿管困難症まで

マッコイ喉頭鏡は挿管を簡単にスピーディに行うようにデザインされたものです。特に挿管困難症例に有効です。挿入は従来のマッキントッシュ喉頭鏡と同様です。

挿入後、必要に応じてレバー操作により、ブレード先端の角度を調整し、喉頭展開を行います。挿管困難症例の喉頭展開のとき、ブレードに余分な力がかかりません。上顎前歯損傷の防止に有用です。



- お手持ちのスタンダードハンドルに取り付けができます。
- マッコイブレードはマッキントッシュブレードのNo.3に相当します。

製造元/ペンロン社

承認番号 06日輸第0784号

■輸入・販売元

日本メディコ株式会社

本社/名古屋市名東区一社1-87(ユウトクビル) 〒465 TEL.(052)701-6128

メドノーバ株式会社

本社/名古屋市名東区一社1-79(第六名昭ビル) 〒465 TEL.(052)703-7501

- 札幌 ☎(011)221-8550
- 仙台 ☎(022)264-3371
- 東京 ☎(03)3816-3367
- 神奈川 ☎(0427)99-5490
- 新潟 ☎(025)244-5624
- 名古屋 ☎(052)701-6128
- 大阪 ☎(06)941-3813
- 南大阪 ☎(0722)21-9442
- 神戸 ☎(078)361-9180
- 岡山 ☎(086)241-5679
- 広島 ☎(082)273-9000
- 福岡 ☎(092)473-7687